

令和4年4月8日

P T A 総会挨拶

皆さんこんにちは。今年度の人事異動で松山東高校から赴任して参りました村井浩昭といたします。校門をくぐると校訓を刻んだ碑がありまして、そこに村井と刻んでありました。嬉しい気持ちと運命的な出会いであるという気持ちになりました。国安川沿いの桜も美しくこのような自然に恵まれた中でもともに学ぶことができることを幸せに思っています。どうぞよろしく願いいたします。

少子化の影響で生徒数は減少しておりますが、新入生が例年よりも多く本校を選択してくれたおかげで、昨年度よりも生徒数が16人増加しております。県立学校は、様々な学校を経験する教員が多く、教科指導や部活動指導に熱心で優秀な教員が多いと感じています。今後とも保護者の皆様に御支援と御協力を仰ぎながら、お子様の将来に向けた支援の在り方を第一に考えていきます。

コロナの状況は、まだまだ予断を許しませんし、人が動き行き来しはじめるこの季節は注意が必要です。手洗いうがい、換気はもちろんですが、校内でのマスク着用、黙食などお互いに濃厚接触者にならない自助努力をお願いいたします。本人はもちろん、ご家族に風邪の症状が出た場合など、出席停止扱いもできますので登校を控えていただきますようお願いいたします。

本校は、重点努力目標に「一精神（こころ）を修め、知と技を練る吉田高校」を掲げており、豊かな心の育成と知識技能の習得についてバランスの取れた人間形成を行っております。昨年度から全県下県立高校で一人一台端末が導入され、活用されていますが、本校では、一年早くタブレットを導入して先進的な取組を行っています。また、今年度から女子の制服を一新し、スラックスを導入するなど選択肢を増やすことできめ細かな対応を行っています。

部活動も選択肢がたくさんあり、野球部、サッカー部、バレーボール部などの運動部、吹奏楽部や声楽部などの文化部、また、工業系で各種コンテストに挑戦している部活動など幅広くございます。野球部が春の大会で地区大会を勝ち抜き県大会に進みましたが、6回裏になんとか1点もぎとり、7回コールドを阻止したのは、大きな自信につながったと思います。工業系の部活動では、様々なものづくりコンテストや、全日本ロボットアメフト大会など果敢にチャレンジし成果を収めています。

進路保障は、保護者の皆様に一番関心のあるところです。普通科では、進学対就職が7：3、工業科では、3：7となっております。普通科でも工業科でもいろいろな資格取得を奨励しており、普通科では、実務検定や情報処理検定、工業科では、電気工事士や計算技術検定などたくさんの資格取得にチャレンジできます。進学は、専門学校が多いですが、国公立大学や松山大学などへの進学にも対応しておりますし、就職に関しては、県内外の大企業から多くの求人をいただいております。

この4月1日から成年年齢が18歳に引き下げられました。18歳になると保護者が保護者でなくなり、様々な契約を自己責任で行うことができるようになります。愛媛の金融機関の中には、カードローンは20歳からと決めたところもありますが、知識のないまま成年延齢を迎えると思わぬ落とし穴があることが考えられますので、このことについての教育も行っていきたいと考えています。

最後になりますが、子供の教育に大切なのは、学校・家庭・地域の連携と家庭からの信頼です。我々教職員一同、一丸となって、生徒一人一人の成長を支えてまいります。本校の教育活動への御理解、御協力をよろしくお願いいたします。